

東京の将来像テーマ

東京都市大総研セミナー

東京都市大学は1日、東京都渋谷区のセルリアンタワー東急ホテルで第104回総研セミナーを開いた。写真。

「東京都市大学が考える未来都市東京」をテーマに、東京や日本の将来像についての講演があり、約120人が参加



した。

「ビヨンド2020・渋谷から世界に挑戦する」と題して講演した同大の涌井史郎教授は、現在の社会は環境の観点から限界を迎えていると指摘。そのため、自然と共生ができていた江戸時代を再評価する必要があると指摘し、「これからは江戸に学んだ東京や日本をつくっていくことが重要だ」と強調した。

このほか東京急行電鉄の渡邊功取締役常務執行役員都市創造本部長は「未来都市東京」と題して講演。「日本の未来技術戦略をつくる」と題した新エネルギー・産業技術総合開発機構の川合知二技術戦略研究センター長の講演や、日本のエネルギーをテーマにした柏木孝夫東京都市大客員教授の講演などがあった。

